

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】 (要領第5の2(1)関係)

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名 44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別		補助		建設部道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
1	(国)141号 うみじり 海尻 〔南牧村〕	歩道設置工 L=490m W=2.5m 〔工期:H19~H26〕	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=250m	評価時 (変更) H23	29%	H22年度までに一部歩道完了し、H24年度は引続き用地補償を進める。	安全な歩行区間の確保による事故多発箇所の早期解消のため集落センターまでの歩道整備が必要である。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H23変更:延長220m増、事業費1億6千万円増、工期3年増 安全な歩行空間の確保のため集落センターまでの整備を行う。
						重要性 B						
						効率性 A						
		4億5000万円	2000万円	8000万円	3億1900万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
2	(国)299号 せんがひなた 千ヶ日向 〔南牧村〕	歩道設置工 L=320m W=2.5m 〔工期:H22~H27〕	用地測量 1式 物件調査 1式 用地補償 1式	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=320m	評価時 (当初) H22	31%	計画どおり進んでいる。 H24年度に歩道設置工事に着手する。	今後開通が予定されている中部横断自動車道の八千穂IC(仮称)のアクセス道路であり、通学路であるため早期の歩道整備が必要である。	重要性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 C						
		1億8000万円	4000万円	3000万円	1億2500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。					
3	(国)144号 すみよし 住吉 〔上田市〕	歩道設置工 L=360m W=3.5m 〔工期:H21~H26〕	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=360m	評価時 (変更) H23	21%	H24年度は引き続き用地補償を進める。	歩道中抜け区間であり、交通量も多いことから早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H23 変更:地元との調整に日数を要し、工期1年増
						重要性 A						
						効率性 A						
		5億円	6500万円	5000万円	3億9700万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)				補助・単独別	補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価 (変更) H23	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	(国)143号 あおき 青木	歩道設置工 L=450m W=2.5m (工期:H19~H24)	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=150m	評価時 (変更) H23	88%	H24年度に歩道設置工事の完了を図る。	通学路の中抜け区間であり、交通量も多いことから、早期の歩道整備が必要であり、平成24年度の完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
	[青木村]	2億8000万円	6070万円	3500万円	3500万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 C	特記事項 H23変更 地権者との交渉に日数を要し、工期1年増 住民参加状況等 地域住民により歩道除雪を行っている。				
5	(国)403号 かのり 叶里~ しらいほり 下井堀	歩道設置工 L=720m W=2.5m (工期:H19~H27)	歩道設置工 L=70m	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=330m	評価時 (変更) H22	59%	計画どおり進んでいる。 H24年度は引き続き歩道設置工事を進める。	通学路であり、歩道の中抜け区間であることから事業促進を図る。	必要性が認められる。	「継続」
	[麻績村]	4億円	6500万円	9億5000万円	1億6500万円	必要性 A 重要性 B 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H22変更 延長600m減、事業費4億円減。 地元との調整により集落部以外は片側歩道とする。 住民参加状況等 特になし。				
6	(国)143号 あおくさき 大口沢	交差点改良工 L=250m W=9.0(13.0)m (工期:H20~H24)	交差点改良工 L=200m	交差点改良工 L=50m	交差点改良工 L=50m	評価時 (変更) H23	96%	計画どおり進んでいる。 H24年度は交差点改良工事を完了する。	松本市街地と四賀地区を結ぶ重要な路線であり、安全な歩行空間を併せて確保し、早急に整備する必要があるため継続し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
	[安曇野市]	2億5000万円	1億2000万円	1000万円	1000万円	必要性 A 重要性 A 効率性 A 緊急性 B	特記事項 H22変更 延長100m増、事業費1億円増、工期1年増。 交差点の実際の車両の通行状況の調査により、右折レーンの影響範囲を延伸。 H23変更 延長50m増、歩道増、事業費3千万円増。 交差点改良に併せバス停及び歩道の整備を行う。 住民参加状況等 特になし。				

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(国道)		補助・単独別		補助		建設部道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	(国)147号 かんだちょう きた 神田町北 (安曇野市)	[2期工区] 歩道設置工 L=490m W=2.5m (工期:H24~H26) 【全体】 歩道設置工 L=1,372m W=2.5m (工期:H15~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=490m	評価時 (当初) H24	0%	計画どおり進んでいる。 H23年度に1期工区を完了し、H24年度は2期 工区として用地補償を進める。	当該路線は交通量も 多く、JR穂高駅に至る 歩行者経路でもあり、 早期に歩道の整備を 図る必要がある。	必要性、緊急性が高 く、重要性も認められ る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H23 1期工区完了。				
						重要性 A					
						効率性 B					
	2億9000万円	6000万円	5500万円	2億9000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
8	(国)148号 きたおおまち 北大町 (大町市)	歩道設置工(両側) L=755m W=4.0m (工期:H15~H24)	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=80m	歩道設置工 L=80m	評価時 (変更) H24	97%	H24年度に歩道設置工事を完了する。	通学路で歩道中抜け 区間であり、通学児童 が危険にさらされてい るため、早期の歩道整 備が必要であり、平成 24年度の完了を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更 延長55m増、事業費5千万円増、工期1年増 交差点影響範囲を完成断面とする。				
						重要性 B					
						効率性 B					
	10億1000万円	8000万円	3500万円	3500万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					
9	(国)406号 ひろこうじ 広小路 (須坂市)	歩道設置工(両側) L=114m W=3.5m (工期:H20~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=114m	評価時 (変更) H22	67%	計画どおりに進んでいる。 H24年度は引き続き用地補償を進める。	通学路に指定されて おり、必要性、緊急性 ともに高い。交通量及 び歩行者が多く、歩道 整備を行う必要があ る。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H22変更 事業費5億円増、工期2年増。 当初通学路の確保のため北側のみ整備する予定であったが、 地元との協議の中で交通量、通行者を勘案して両側での歩道整 備とした。				
						重要性 A					
						効率性 C					
	11億円	2億2000万円	2億3000万円	3億6500万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
合計	9箇所	46億6000万円	8億8170万円	14億7500万円	17億4100万円						

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
1	(一)旧軽井 沢軽井沢 わていせん (停)線 しんかろいざわ 新軽井沢 (軽井沢町)	自転車歩行者道設置 工(両側) L=460m W=5.5m (延べL=920m)	自転車歩行者道 設置工 L=100m 舗装工 L=460m 照明工 1式	自転車歩行者道 設置工 L=90m	自転車歩行者道設 置工 L=90m	評価時 (変更) H23	95%	計画どおり進んでいる。 H23年度までに西側の歩道、舗装及び照明 設置工事を完了し、H24歩道設置工事を完了 する。	歩行者と自転車の接 触による事故の危険 が高い箇所であり、自 転車対策の必要性が あるため、継続して実 施し平成24年度完了 を図る。	平成24年度での完了 を図る。	「継続」	
		(工期:H21~H24)				必要性 A	特記事項 歩道に自転車通行帯を設け、歩行者と自転車の円滑な交通を整 備する。無電柱化事業と併せて実施。					
						重要性 A	H23変更:車道舗装460m、照明工増、事業費7千万円増。 明るく安全な沿道環境の確保のために道路照明を追加する。					
		2億1500万円	9000万円	1000万円	1000万円	効率性 B						
					緊急性 B		住民参加状況等 現道区間をアダプトシステムにより街路樹の剪定や歩道の清掃を 行っている。					
2	(主)佐久軽 井沢線 おたい 小田井 (佐久市~ 御代田町)	歩道設置工 L=500m W=2.5m (工期:H23~H26)	用地補償 1式	用地測量 1式	歩道設置工 L=500m	評価時 (当初) H23	6%	H24年度は用地補償を進める	通学路に指定されて おり、歩道中抜け区間 であり通学児童が危 険にさらされており、 早期の歩道整備が必 要である。	必要性が認められ る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 B						
		1億6000万円	1000万円	3000万円	1億5000万円	効率性 A						
					緊急性 B		住民参加状況等 特になし。					
3	(一)芦田大 屋(停)線 しあかわしょうがっ 塩川小学校 こういりぐち 入口 (上田市)	[2期工区] 歩道設置工 L=600m W=2.5m (工期:H24~H28) [全体] 歩道設置工 L=930m W=2.5m (工期:H17~H28)	1期 歩道設置工 L=200m	2期 用地測量 1式	2期 歩道設置工 L=600m	評価時 (変更) H24	0%	H23年度までに1期工区が完了し、H24年度か らは用地補償を進める。	通学路であるほか、老 人福祉施設が近傍に あることから歩行者の 安全確保のため、早 期の歩道整備が必要 である。	必要性が高い。	「拡大」	
						必要性 A	特記事項 H23変更 事業費1億円増、工期4年増 工区南側について線形改良としたため、工期及び事業費を増と する。					
						重要性 B	H24変更 1期 L=330m H17~H23 完了 2期 L=600m H24~H28 延長470m増					
		4億円	6500万円	1億円	4億円	効率性 A						
					緊急性 B		住民参加状況等 特になし。					

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
4	(主)別所丸 子線 別所 〔上田市〕	歩道設置工 L=830m W=2.5m 〔工期:H20~H25〕	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=70m	歩道設置工 L=650m	評価時 (当初) H20	45%	H22年度までに一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	観光地である別所温泉の玄関口であることから、早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
						緊急性 C	住民参加状況等 特になし。					
5	(主)上田丸 子線 下之郷 〔上田市〕	歩道設置工 L=320m W=2.5m 〔工期:H23~H26〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=120m	歩道設置工 L=320m	評価時 (当初) H23	6%	H23年度までに一部用地補償が完了し、H24年度に歩道設置工事に着手する。	観光地である別所温泉の玄関口であることから、早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 C						
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
6	(一)茅野 (停)八子ヶ峰 公園線 埴原田 〔茅野市〕	歩道設置工 L=750m W=2.5m 〔工期:H21~H25〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=520m	歩道設置工 L=650m	評価時 (変更) H24	68%	計画どおり進んでいる。 H23年度まで用地補償を進め、H24年度から歩道設置工事に着手する。	歩行者による事故の危険が高い箇所であり、歩行者対策の必要性がある。又地権者を含む地元住民の要望が強く、事業効果も大きい。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 下水道整備事業と併せ工事の進捗を図る。 H24変更 事業費1億6千万円減
						重要性 B						
						効率性 A						
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名		44 交通安全施設等整備(地方道)		補助・単独別		補助		建設部道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
7	(主)伊那辰野(俣)線 〔辰野町〕	歩道設置工 L=520m W=2.5m 〔工期:H19~H25〕	歩道設置工 L=200m	用地測量 1式	歩道設置工 L=320m	評価時 (当初) H19	62%	計画どおり進んでいる。 H23年度一部歩道を完了させ、H24年度は用地補償を進める。	交通量が多く通学路であり、歩行者が常に危険にさらされているため早期の歩道整備が必要である。	必要性が高く、重要性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 「下町交通対策委員会」とワークショップ形式で対策と事業の進め方を検討した。
						重要性 A						
						効率性 C						
	6億4000万円	8500万円	1億5000万円	2億4500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
8	(主)伊那箕輪線 〔箕輪町〕	歩道設置工 L=800m W=2.5m 〔工期:H23~H26〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=500m	歩道設置工 L=800m	評価時 (当初) H23	23%	H24年度は本工事を進める。	交通量が多く通学路であり、歩行者が常に危険にさらされているため早期の歩道整備が必要である。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 B						
						効率性 A						
	2億円	4500万円	3000万円	1億5500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
9	(主)駒ヶ根長谷線 〔駒ヶ根市〕	歩道設置工 L=600m W=2.5m 〔工期:H23~H27〕	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=600m	評価時 (当初) H23	9%	H24年度は用地補償を進める。	交通量が多く通学路であり、歩行者が常に危険にさらされているため早期の歩道整備が必要である。	必要性が高く、重要性も認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 C						
	5億円	4500万円	1億円	4億5500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)			補助・単独別		補助		建設部道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
10	かみいいた せん 線 いちばふみきり 市場踏切 〔飯田市〕	歩道設置工 L=50m W=2.5m 〔工期：H22～H25〕	測量設計 1式	歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=50m	評価時 (変更) H24	6%	H24年度から歩道設置工事に着手する。	歩道の中抜け区間で あり、歩行者は狭小な 路肩部分を通行してい ることから、早期に歩 道整備が必要である。	予定工期内での完了 を図る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H23変更：延長30m減。 地元及びJRとの調整により片側歩道のみとし、延長を減とした。					
						重要性 A	H24変更：事業費6千万円増、工期1年増 JRとの調整により工期を延期した。					
						効率性 A						
	1億6000万円	300万円	5000万円	1億5000万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
11	かみいいた せん 線 ばんば 馬場 〔喬木村〕	歩道設置工 L=200m W=2.5m 〔工期：H23～H26〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=70m	歩道設置工 L=200m	評価時 (当初) H23	2%	計画どおり進んでいる。 H24年度から歩道設置工事に着手する。	歩道の中抜け区間で あり、歩行者は狭小な 路肩部分を通行してい ることから、早期に歩 道整備が必要である。	必要性が認められ る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 C						
						効率性 A						
	1億6000万円	300万円	4000万円	1億5700万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
12	(主)まつもとし おじり せん 尻線 みなみうちだ 南内田 〔塩尻市〕	歩道設置工 L=620m W=2.5m 〔工期：H18～H25〕	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	歩道設置工 L=620m	評価時 (変更) H24	46%	計画どおり進んでいる。 H23年度に一部歩道着手し、H24年度工事の 進捗を図る。	大型交通量が多く歩 行者が危険にさらされ ているため、早期の歩 道整備が必要である。	必要性、重要性が認 められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更：事業精査により、事業費2億円減					
						重要性 A						
						効率性 A						
	3億円	3500万円	5000万円	1億6300万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別	補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
13	(主)松本環状高家線 横沢 (松本市)	歩道設置工 L=360m W=2.0m [工期:H16~H24] 用地補償 1式	歩道設置工 L=150m	歩道設置工 L=150m	評価時 (当初) H16	88%	計画どおり進んでいる。 H24年度は歩道設置工事を完了する。	通学路に指定されており、歩行者が多いため、早期の歩道整備が必要であるため、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
					必要性 A	特記事項 特になし。						
					重要性 C							
					効率性 A							
	2億9000万円	4000万円	3500万円	3500万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
14	(一)新田松本線 南和田 (松本市)	歩道設置工 L=1,000m W=2.5m [工期:H17~H25] 歩道設置工 L=50m	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=450m	評価時 (当初) H17	75%	H24年度は引き続き歩道設置工事を進める。	路肩が非常に狭く、大型車交通量が多いため歩行者が危険にさらされていることから、早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」		
					必要性 A	特記事項 歩道設置区間の先線に、松本市の臨空工業団地がH24年に完成予定のため、早期の歩道整備が必要である。 H24変更:工期1年延長						
					重要性 C							
					効率性 A							
	4億2000万円	3000万円	5000万円	1億400万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
15	(主)塩尻鍋割穂高線 上竹田 (松本市)	歩道設置工 L=850m W=2.5m [工期:H23~H27] 用地補償 1式	用地測量 1式	歩道設置工 L=850m	評価時 (当初) H23	3%	H24年度は用地補償を進める。	路肩が非常に狭く、大型車交通量が多いため歩行者が危険にさらされていることから、早期の歩道整備が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」		
					必要性 A	特記事項 歩道設置区間の先線に、松本市の臨空工業団地がH24年に完成予定のため、早期の歩道整備が必要である。						
					重要性 C							
					効率性 B							
	3億円	1000万円	2000万円	2億9000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	交通安全施設の整備	事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
16	ふりがな (一)矢室明科 線 いかり 井刈 (松本市)	歩道設置工 L=360m W=2.5m 〔工期：H19～H24〕	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=180m	歩道設置工 L=180m	評価時 (当初) H19	86%	H24年度に歩道設置工事を完了する。	通学路であるが歩道はなく、歩行者が危険にさらされており、歩行者の安全確保のため早期の歩道整備が必要であり、平成24年度の完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 H24変更 工期1年増
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 C	住民参加状況等 特になし。											
17	ふりがな (一)松本空港 線 まちかん 町神 (松本市)	〔1期工区〕 歩道設置工(両側) L=360m W=2.5m 〔工期：H22～H26〕 〔全体〕 歩道設置工(両側) L=780m W=2.5m 〔工期：H22～H28〕	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=360m	評価時 (当初) H22	14%	計画どおり進んでいる。 H22年度に一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	通学路であるが歩道はなく、歩行者が危険にさらされており、歩行者の安全確保のため早期の歩道整備が必要である。	必要性、重要性が高い。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 B						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											
18	ふりがな (一)中堀一 日市場(停) せん 線 ゆたか 温 (安曇野市)	歩道設置工 L=560m W=3.0m 〔工期：H17～H26〕	用地補償 1式 付け替え水路工 一式	用地補償 1式	歩道設置工 L=560m	評価時 (当初) H17	55%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに一部用地補償が完了し、H23年度から歩道設置工事に着手する。	通学路に指定されており、必要性、緊急性ともに高い。歩道中抜区間であり、通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H24変更 工期2年延長
						重要性 C						
						効率性 A						
緊急性 C	住民参加状況等 特になし。											

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)		補助・単独別	補助		建設部道路管理課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況				
19	(主)大町明 科線 池田 (池田町)	歩道設置工 L=840m W=2.5m (工期:H17~H25)	歩道設置工 L=80m	用地補償 1式	歩道設置工 L=280m	評価時 (当初) H17	75%	計画どおり進んでいる。 H23年度は引き続き用地補償を進める。	通学路に指定されており、必要性、緊急性とも高い。歩道中抜区間であり、通学児童が危険にさらされているため、早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 H24変更:工期1年延長
						重要性 A						
						効率性 B						
	4億5000万円	3500万円	5500万円	1億1200万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
20	(一)上室賀 坂城(停)線 上五明 (坂城町)	歩道設置工(両側) L=340m(延680m) W=3.0~3.5m (工期:H20~H26)	用地補償 1式	歩道設置工 L=120m	歩道設置工 L=340m(延680m)	評価時 (当初) H20	17%	計画どおり進んでいる。 H23年度までに一部歩道設置工事に着手しており、H24年度は歩道設置工を進める。	中抜け区間であることから早期の歩道整備が必要である。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 R18バイパス関連。 H24変更:工期2年延長
						重要性 B						
						効率性 A						
	3億5000万円	4030万円	3000万円	2億9200万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
21	(主)長野上 田線 三本木 (坂城町)	歩道設置工(両側) L=340m(延680m) W=2.5m (工期:H23~H27)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=340m(延680m)	評価時 (当初) H23	20%	計画どおり進んでいる。 H23年度までに一部歩道設置工事に着手しており、H24年度は歩道設置工を進める。	中抜け区間であることから早期の歩道整備が必要である。	必要性は高い。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 R18バイパス関連。
						重要性 B						
						効率性 A						
	3億5000万円	1000万円	2000万円	2億8000万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名	44 交通安全施設等整備(地方道)			補助・単独別		補助	建設部道路管理課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
22	(一)中野小 布施線 病院前 (小布施町)	歩道設置工 L=780m W=2.5m (工期:H17~H25)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=400m	評価時 (変更) H23	69%	H22年度までに病院前まで歩道が完了し、 H23年度は引き続き先線の用地補償を行う。	歩道中抜け区間であり、 通学路であるため 早期の歩道整備が必要 である。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H23変更 事業費1億5千万円増 線形を見直したため事業費増。					
						重要性 B						
						効率性 A						
	8億円	1410万円	3000万円	2億4670万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
23	(一)新田春 木線 小河源 (須崎市)	歩道設置工 L=890m W=2.5m (工期:H19~H26)	用地補償 1式	歩道設置工 L=320m	埋文調査 1式 歩道設置工 L=640m	評価時 (当初) H19	70%	計画どおり進んでいる。 H23年度は用地補償を実施し、H24年度は歩 道設置工事を進める。	交通量が多く人身事 故が発生しており、早 期の歩道整備が必要 である。	必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 埋蔵文化財の調査を実施しながら、整備を進めている。 H24変更:工期1年延長					
						重要性 B						
						効率性 A						
	4億5000万円	5500万円	5000万円	1億3600万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
24	(一)三才大 豆島中御所 線 朝陽 (長野市)	歩道設置工 L=420m W=2.5m (工期:H20~H25)	用地補償 1式	歩道設置工 L=100m	歩道設置工 L=420m	評価時 (当初) H20	41%	計画どおり進んでいる。 H22年度までに用地補償を実施しており、H23 年度から歩道設置工事に着手する。	長野東バイパスの開 通に伴い当該区間の 自動車交通量が増加 することが予想される ため、早期の歩道整 備が必要である。	予定工期内での完了 を図る。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 R18長野東環状バイパス関連。 H24変更:工期1年延長					
						重要性 A						
						効率性 B						
	3億円	5000万円	1億4000万円	1億7800万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						

分野	交通安全施設の整備		事業番号、事業名 44 交通安全施設等整備(地方道)				補助・単独別		補助		建設部道路管理課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
25	(主)長野管 平線 大豆島 (長野市)	歩道設置工(両側) L=200m(延400m) W=2.5m (工期:H22~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=200m	評価時 (当初) H22	50%	H24年度は引き続き用地補償を進める。	小学校に近接し通学 路に指定されており、 交差点改良とあわせ 早期の歩道整備が必 用である。	必要性が高く、重要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 A						
						効率性 C						
	5億円	1億6000万円	1億7000万円	2億5200万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
26	(主)長野大 町線 中条宮 (長野市)	歩道設置工 L=300m W=2.5m (工期:H22~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=300m	評価時 (当初) H22	11%	計画どおり進んでいる。 H22年度に用地補償に着手し、H24年度は引 き続き用地補償を進める。	通学路に指定されて おり、地元要望が強く 早期の歩道整備が必 用である。	必要性は高い。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 B						
						効率性 A						
	4億円	4000万円	7000万円	3億5800万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。						
27	(一)野村上 牟礼(停)線 野村上 (飯縄町)	歩道設置工 L=350m W=2.5m (工期:H23~H26)	用地補償 1式	用地補償 1式	歩道設置工 L=350m	評価時 (変更) H24	7%	計画どおり進んでいる。 H22年度に用地補償に着手し、H24年度は引 き続き用地補償を進める。	通学路に指定されて おり、地元要望が強く 早期の歩道整備が必 用である。	必要性は高い。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更:詳細設計により、延長50m増					
						重要性 B						
						効率性 A						
	1億5000万円	1000万円	5000万円	1億4000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						

